



今月の記事

夕べにも光あり

6月の愛の園

支える人々 II

リレーエッセイ

7～8月の予定



園長
武藤直二

「夕べになっても光がある」

「夕べになっても光がある」(ゼカリア書 14:7)は聖書の一節です。人生を1日に例えたとき、沈む夕日に照らされて燃える夕焼けの美しさが私たちの心を打つように、人生の最晩年にも光り輝く時を過ごすことができると謳っています。そして「夜になって初めて昼間見えなかった星が満ちてくる」と続きに想いを馳せる方もおられることでしょう。

愛の園に入居されている90名の方々の平均入居年数は約5年です。この2年間では33名の方が死亡退園となり、その内20名の方がご自身の居室で最期を迎えられました。多くの方にとって愛の園は終の住まいとなっています。

そこで、入居されるときには「看取りの希望確認書」によって終末を迎える場所や医療、過ごし方などについて意向を伺い、また、看取り介護の要件や介護計画などについても説明をいたします。いざというときに備えた準備や確認が必要だからとの思いからです。

しかしふと振り返るとき、終末期のケアとはどのように亡くなっていくかの取り決めではなく、

ましてそのための手続きと勘違いしてはならないと気付かされます。その瞬間までどのように生きていくかの道筋を考えることであり、自分の最後を見つめながら、いかに豊かに尊厳をもって過ごしていくかが問われているのです。

愛の園はその開設当初から「病む人を看取る」ことを働きの基本に据え、入居者のご家族とに関わり続けてきました。亡くなった方のお別れ会や葬送式をご家族・入居者・職員みんなで、「私も後から行くから天国でまた会いましょうね。」と声をかけて正面玄関から見送ることで、残された方々の心にご自身なりの準備が備わっていくのだと思います。

私たち職員は、終末を迎える人に対してご家族と一緒に、よい人生であったことを共に喜び、一緒に過ごしたことへの感謝と「あなたを決して忘れない」というメッセージを送り、必ずまた再会できると約束したいと願っています。愛の園での生活がますます豊かであるよう努めてまいります。



家族の会会長の滝本秀暉さんが町内会の有志の方と施設周辺の草刈りをしてくださいました。猛暑の中の約4時間のご奉仕で、本当にきれいになりました。ありがとうございました。(7/6)

6月の愛の園から あんなこと、こんなこと



夏の定番、『かき氷』を作るぞ！！(6/7)



今月もマリモ達が出来て来てくれました。(6/4)



ボランティアのKさんから似顔絵をプレゼントされたMさんは大喜びでお部屋に飾っています。



6月のひまわり会は実習中の熊野高校の生徒達と一緒に塗り絵を楽しみました。(6/17)

支える人々Ⅱ(1) 喫茶ボランティア

千葉明大



ボランティアの方々が入居者の皆さんとの大切な触れ合いの機会になっています

愛の園では年間を通し延べ 1500 人以上の様々なボランティア支援をいただいています。そのなかでも、喫茶ボランティアは活動を始めて 20 年余りにもなるボランティアです。

発足当初より参加人数も徐々に増え、現在は 24 名となり、延べ換算すると月 90 名余り、年間にすると実に約 1000 名にもなります。

愛の園入居者の方々は、毎週の喫茶ボランティアで入れていただける珈琲を楽しみにされており「今日は珈琲まだか?」「美味しい珈琲入れてもらったよ。嬉しいわ」などの声も聞こえてきます。

毎週土曜日には、全体喫茶が 1 階地域交流スペースにて開かれています。その際には、喫茶ボランティアメンバーだけではなく、上秋津のガールスカウトの小学生達、熊野高校の生徒達も参加し、若い世代の参加により活気が溢れています。

地域住民と愛の園との繋がりにより、入居者の方々の生活が豊かになっていくのだと思います。

「支える人々」シリーズをパートⅡとして再開するにあたり、まず 20 年余りも活動を続け、愛の園にご支援をいただいている喫茶ボランティアをご紹介させていただきました。皆様、これからもよろしくお願いいたします。



全体喫茶を行う喫茶ボランティアの皆さん

リレーエッセイ(24) 「根来さんのこと」

介護職員

濱中佳津子



真剣な様子で紫陽花を活ける根来美苗さん

最近の私の楽しみは?と思いついても仕事と家の往復、それ以外は何もないと・・・。

では仕事場ではと考えた時に一つ興味深いと思うことがありました。

私が担当する9ユニットに根来美苗さんという入居者がおられます。根来さんは永年にわたり生け花を嗜まれてきており、ユニットで月に一回程度、花を活けてくださいます。職員がサポートに付くなかで、花の話、花器の話などをしてくださいます。

また、活けた花が本当に素晴らしく仕上がっており、その話と共に凄いなと感心させていただいています。さすが師匠です。

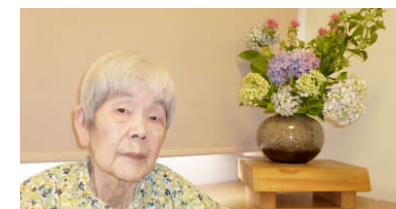
6月は紫陽花と紅花を用意しました。「紫陽花は雨に濡れて咲くのが一番美しい姿だから、梅雨の季節を選んで咲いているのです。」「紫陽花の茎の中はスポンジ状で保水力が大

きいから、朝露を多く含んだ時に切り取るのが適当なんですよ」など、様々な知識を教えてくださいました。

このように博識な根来さんに尊敬の念を持ちながら、今回リレーエッセイの記事とさせていただきます。

この記事に掲載するにあたって、根来さんにお名前掲載のご了解をいただきました。ありがとうございました。

次回は、9ユニット職員の稗田健人さんにバトンタッチします。



活けた紫陽花を背に記念写真を撮りました

「キリストの愛を以って
互いに仕える」

社会福祉法人神愛会
特別養護老人ホーム愛の園

〒649-2103
和歌山県西牟婁郡上富田町
生馬 316-56

TEL (0739)47-1234

FAX (0739)47-4329

Email ainosono@shinai.or.jp

ホームページもご覧ください。
バックナンバーを掲載しています

<http://shinai.or.jp>

7～8月の愛の園

- 13(日) 日曜礼拝
- 15(火) マリア会 チェロコンサート
- 16(水) 手芸サークル
- 17(木) やまびこ会
- 18(金) 社協ボランティア来園
- 20(日) 日曜礼拝
- 22(火) ひまわり会
- 23(水) 歯科診療
- 24(木) やまびこ会
- 27(日) 日曜礼拝
- 29(火) マリア会
- 31(木) やまびこ会

- 3(日) 日曜礼拝
- 5(火) マリア会
- 7(木) やまびこ会
- 10(日) 日曜礼拝

編集者から

先月下旬に初めて機能訓練のお手伝いをしました。もちろん普段から訓練をしているのは見ていますし、ケアを担当している長期入居者の方々の訓練内容について訓練指導員と話しますが、やはり見ているのと実際自分がしてみるのでは全く違います。

生活支援室で勤務するようになり、日々デスクワーク中心の私にとって普段ほとんど接する機会がないショートステイやデイサービスをご利用の方々とのお話も楽しみながら、「一日見習い職員」としてなんとか手伝うことができたと思います。他職種の仕事を経験し、福祉の仕事を始めた頃のような新鮮な気持ちになりました。(1)